



1 月号 2021-2022
No. 535

西条

第 61 代会長スローガン 「 伝承 そして新たなる時代へ 」

キーワード 「 挑戦 」



「星の里」での餅つき奉仕 2021.12.11(土)



ライオンズクラブ国際協会 336-A地区
2R4Z 西条ライオンズクラブ 広報誌

2021-2022 ライオンズクラブ国際協会会長

ダグラス M・アレキサンダー

テーマ 「 We Serve (我々は奉仕する)」

メッセージ 「 心からの奉仕を 」 *Service from the Heart*



2021-2022 ライオンズクラブ国際協会 336-A地区ガバナー

蔵本守雄

スローガン 「 命燃やして恋せよライオンズに 」

キーワード 「 Overcome 」



2021-2022 ライオンズクラブ第 61 代会長

曾我部克正

結成60周年記念大会 2022年4月3日(日)

大会テーマ 「 未来への提言 」

記念ゴルフ大会 2022年3月27日(日)



新年のご挨拶

第 61 代会長 曾我部克正

新年あけましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。

本年も、よろしくお願いいたします。

さて、西条ライオンズクラブ 60 周年記念大会まで 3 ヶ月となりました。

メンバーの皆様には、各委員会活動にて、ご尽力いただき誠にありがとうございます。

令和 4 年 4 月 3 日、心に残る素晴らしい大会を成功させましょう。

昨年暮れより、新型コロナウイルスも、終息に向かうかと思われましたが、新たにオミクロン株が現れ、今、徐々に増えてきています。

例会や活動ができない日々が続いておりましたが、これ以上感染者が増えないことを祈るばかりであります。メンバーの皆様、充分体に気をつけてこれからのライオンズクラブの活動並びにご協力、何卒よろしくお願いいたします。

■ 国際平和ポスターコンテスト表彰式

日時:2021年12月23日(木)12:30~13:30

応募作品33点より入賞された生徒さんへ、賞状と副賞並びに参加賞の作品カレンダーをお渡ししました。平和ポスターコンテストには、毎回市内小学校5・6年生が平和への思いを描き応募していただいています。私たちも、作品を観ることが楽しみな事業となっています。御協力いただいた皆様、ありがとうございました。



西条市立橋小学校



西条市立神拝小学校



西条市立玉津小学校

年賀

喜寿(77才) 村上 公明 昭和21年2月16日生 花山 志郎 昭和21年10月10日生
古稀(70才) 伊藤 隆治 昭和28年1月22日生 明比紳一郎 昭和28年 5月27日生
還暦(60才) 武智 正人 昭和37年3月13日生 黒石 広文 昭和37年 5月27日生



村上公明

古稀のお祝いをしてもらったのがついこの間、というくらいの認識でしたが、もう「喜寿」とは……。歳の取るのは早いものだ、ということを感じています。昨年末も県外の友人がガンで亡くなり、又、別の友人の奥様も同じくガンで死亡。同級生もまた1人、また1人……。

この歳になって初めて「自分は生かされている。」という事に気付きました。本当にいろいろな人達にご縁を頂き、お世話になっていることが良くわかってきました。「皆様のお陰で生かされている。」と思います。まずは傘寿を目標に頑張ろうと思います。少しでも世の中にお役に立つように生きていきたい。皆様、よろしくお祈りします。

花山志郎



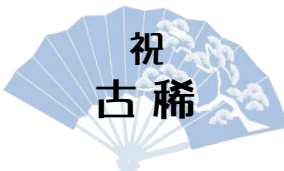
新年明けましておめでとうございます。

昨年令和3年10月10日で75歳、立派な後期高齢者になりました。今年はなんと喜寿のお祝いだそうです。この歳になってどう格好よく朽ちるかそれが問題です。

仕事が一番好きな私ですが思うように体がついていかない状態で、スタッフに迷惑をかけている次第。わたし自身が輝かないといけないと思いますが、リポビタンDを3本飲んででも全然？どう「好奇心」を発揮したらいいのか模索中です。「好奇心」と言っても色々ありますが「生きる源」ですから？

人に感謝されるためにはまず自分自身が心配かけない事が一番かなと思う今日この頃です。会員の皆様「好奇心」が溢れる日々を是非ご指導ください。合掌

明比紳一郎



時が過ぎるのは早いもので、いつの間にか古稀を迎える年になりました。今まで支えて頂いた皆様には深く感謝しています。

さて最近、「人は何のために生きているのか。どのように生きるべきか。」改めて考えさせられています。9年前の還暦の時、私の座右の銘はと聞かれた時「敬天愛人」だと答えました。西郷隆盛の言葉です。意味は～道は天地自然の物として、人は之を行ふもので

あれば、点を敬するを目的とする。点は人も我も同一に愛し給うゆえ、我を愛する心をもって人を愛する也～略(人を相手にせず、天を相手にして己を尽くし、人を咎めず、我誠の足らざるを尋ぬべし)

座右の銘というのは自分がそうであるという事ではなく、常に心に留めておく“戒め”とする格言であります。さて、今の自分の姿は？また7年後、喜寿(77才)の姿はどうでしょうか。

精力的なポジティブな姿は思い浮かびませんが、人に介護されるのではなく、人を愛し、人に愛される自分がいて欲しいと思っています。今後とも末永くお付き合いをお願い致します。

武智正人



明けましておめでとうございます。還暦を迎えました。三月生まれの年男です。

生来の「猫寅」にして「張子の虎」とも言われています。

還暦、遠い先の話が突然目の前にやってきたように感じています。先日、学生時代のアルバムがひょっこり出てきました。貰った時の新品の印象がとても記憶に深く、いつの間にかこんなに古びた写真になったのだろう、と実に不思議な気がしました。そしてしみじみと六十年間を振り返っています。

今、同じ寅年の四十八才の方を見て、若さをつくづくと感じます。当時の私には解らなかった宝物です。七十二才の方には、重厚さを深く感じます。その一言が重く厚く、干支の一巡を如何に過ごされたのだろう、今度は自分の番が大丈夫だろうかと思えます。そしてまた過去を振り返り、自分は何かしらの御役に立てて来たのだろうか、と不安を感じます。

過去と現在を行きつ戻りつ考え込み、そして自分の立ち位置を確認できる「還暦」という節目を与えて戴き、感謝しています。今年もよろしくお祈りします。



黒石広文

最近、同級生が集まると年金と健康の話が話題の中心になりがちな年齢になりました。そして、2022年はずいぶん還暦を迎えるみたいです……。

Wikipediaによると60歳以上の高齢者を一般に老人と呼ぶそうです。

私も、知らぬ間にこの年齢に到達してしまったなどびっくりしています。私の父親の還暦祝いは、『赤いちゃんちゃんこ』と『赤い頭巾』を準備して、大人数でお祝いした写真が残っています。写真を見てもそれなりの老人顔で座っている父親の顔を見ると、私も周りからはこんな老人に見えるのだろうと思うと、外見と内面のギャップにショックを受けます。

しかし、ライオンズの諸先輩方を見ても、行動力もお酒の飲み方も私が圧倒されるぐらいパワフルで老人と呼ぶにはかなり違和感を覚えます。人生50年といわれた、室町後期に始まったとされる風習ですが、人生100年時代の今日、少々見直しが必要になってきたのではないのかと思っています。

私はなるべく『赤いちゃんちゃんこ』なんて着たくありません。(赤いジーンズとジャケットは着ています) コロナで大々的なお祝いはできませんが、人生の大きな節目を迎え、まだまだこれから仕事に精進し、人生を楽しむ新しいスタートを切る節目の年にしたいと思います。

最後に、メンバー皆様にとっても2022年がよい年になるよう願っております。



第2回ゾーンレベル会員委員会
第2回地区ガバナー諮問委員会
～2021.12.10(金) 西条市立西条図書館2F～

- ・10/31実施の合同アクティビティーについての結果報告
- ・遍路道清掃(合同アクティビティー)実施予定はR4年5月頃
- ・次期地区役員・地区委員の推薦の件
委員の選出について、2022-2023年度のみローテーションの入れ替えを行う。
「青少年」を西条石鎧 LC
「環境保全」を伊予小松 LC より選出する事を決定した。

身辺雑記(前編)「ゆずりは」より

元会員 篠原秀幸

炉辺談話 ③

八百字のたわごと



- ・榎*1 燃ゆる 炉端の笑ひ 老いし父母 (*1:「ほだ」小枝や木切れ)
- ・涼風の 川瀬の音に 午睡醒む
- ・笛鳴きの 溪間に 鳥の手を休む

使い捨ての時代から、資源の活用が美德となってきた。数年前新築に当たり、一階の居間に本格的な暖炉を作った。大学から福井日赤に赴任していた時の雪国の炉の火を忘れ難かったからである。四階まで煙道があり、大抵のものは完全に燃焼する。茶のボール箱、廃材は勿論、豆殻などもよい燃料である。チョコチョコ燃える火を眺めると不思議に気持ちが落ち着き、思い出に花が咲く。時には、炉辺で肉や芋を焼き、冬の夜長を楽しむのである。かくしてできた木灰がまた山の畠に利用され、豆や芋を成長させ、豆殻は再び燃やされて灰を作る。病後の健康回復のため、木曜日か土曜日の午後は汗を流して農作業をする。疲れると川の瀬音を聞き、乍ら一眠り。鶯も近くまで来るし、雉も巢を作る。好きな歴史を調べ、下手な絵を描いたり雑文を書く。我が心のオアシスである。

- ・死を看取る 往診の道 ちちろ*2 鳴く (*2:こおろぎ)
- ・ちちろ鳴く 遂に病名 告げざりし
- ・短か夜の 病室に 母の子守歌

開業10年。外科医25年。無言の教訓と叱責を時に甦えらせる患者さんの面影が浮かんでくる。中学出たての15歳に少女の例である。虫垂炎は典型的であったが、術後も腹痛などの愁訴がとれない。山奥の村から通ってくるので、時々来院だったが、段々と痩せてきて入院した時は一般状態が悪く、透視してみても驚いた。胃癌であり、開腹しても切除は不能で、あった。蒸し暑い夜。眠れるままに戸外に出た。浜風が頬を撫で銀漢*3 斜めに瞬く。と、どこからともなく、歌が流れる。母と娘のかすかな合唱である。死を前にしては明るく又静かな一時であった>(*3:「ぎんかん」天の川)

あの歌声を思い出す度に、診断を誤らないためにも、もっと診察に当たり十分な時間が欲しいと思う。



去る、12月11日(土)餅つき奉仕を無事とり行うことができました。
 2年前までは何も心配する事なく、毎年恒例の賑やかな餅つき大会が市内施設2カ所で行っていましたが、ノロウイルスや新型コロナウイルスの影響で、随分と活動が制限されていました。今もまだ新型コロナウイルスの終息とは言えず、「星の里」さんのみの実施となりました。昨年は全くできなかったことからすれば、今年はできただけでも大いに喜ぶべきでしょう。クラブメンバー、奥様方17名、伊予銀行さんよりお手伝いに10名、合わせて27名で、星の里の皆さんとの再会、2年ぶりの餅つきを大いに楽しみました。
 当日は天候も良く、園庭では次々と杵を振り上げ餅をつき、室内ではつきたての餅を手際よく切り、丸めていくという連携プレーは、今回で27回目となる経験の賜物と言えます。
 園生も一緒に、餅を丸め、あんこ餅や水餅を作りましたが、優しく手ほどきする光景がとても微笑ましく、心温まるひとときとなりました。
 久しぶりに「星の里」の皆様元気なお姿を見る事ができてとても嬉しく安心しました。
 「また、来年も来る？」と聞かれ「来るよ。毎年来よるやろ？」と答えた時のあの子の笑顔が忘れられません。
 来年、そして再来年も・・・。



令和3年12月13日

西条ライオンズクラブ
 会長 曾我部 克正 様

社会福祉法人 あおい会
 星の里 施設長 田下 洋一

お餅つきに対するお礼について

拝啓 師走の候、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より当施設の活動に格別のご理解とご協力を賜り、衷心よりお礼を申し上げます。

さて、今年度も貴会から多数のご参加をいただき、盛大に「お餅つき」ができましたことに、心から感謝を申し上げます。施設利用者一同今回の「お餅つき」を大変楽しみにしていたこともあり、皆様方の来園を一週間も前から心待ちにしておりました。また、当日は皆様方のご配慮で施設利用者にも餅つきを体験させていただいたことは大変意義深いことであり、思い出づくりになつたと思います。

ご承知のとおり、当施設は知的障害者が人所して、支援を受けながら生活しているものであり、今回のような事業は一般社会との交流の一つとして大変重要で、効果のあるものと考えております。

当施設としては、今後とも積極的に社会参加を推進し、地域の方々との交流を積み重ねてまいりたいと考えておりますので、以後末永くご支援と交流をよろしくお願い申し上げます。

今後寒さも厳しくなりますが、貴会の益々の発展と会員の方々のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。





西条市国際交流協会のメンバーを、10/31 砂浜の清掃活動での御礼を兼ね家族会へ招待しました。



新型コロナウイルス感染症が少し落ち着きを見せていた12月、1年ぶりの家族例会を開催、メンバー、ご家族、地区委員、西条市国際交流協会メンバーを合わせて61名が出席する盛会となりました。

家族例会に参加して

黒光 穂

わたしが、家族例会に参加して、楽しかった事、うれしかったことがたくさんあります。

1つ目は、英語を教えてくれる先生が来てくれた事です。来る事は知っていましたが、とてもきんちょうしました。でも、そんなわたしに声をかけてくれたのが、メーガン・ハムスリー先生でした。とってもフレンドリーで、「名前を教えて？」と言われて自己紹介した後は、いろいろな所で「おんちゃん！」とよんでくれて、名前を覚えてくれました。とってもうれしかったです。どの先生も、みなさん本当にフレンドリーで、やさしくて、良い先生ばかりでした。

お別れの時は悲しかったけど、「見かけたら、いつでも声をかけてね。」と言ってくれました。いつ会えるかはわからないけれど、いつまでも元気でいてください。とても楽しかったです。



久しぶりの「また会う日まで」

シリーズ 伊予西條遺産

～ テーマ ～
第五代伊予西條藩主 松平頼淳(よりあつ)
在任期間 (1753年～1775年)

初代松平頼純(よりずみ)が西條松平家3万石の藩主として、寛文10年(1670年)2月に紀州和歌山藩から就封した。紀州藩は、徳川御三家の1つで、55万5千石の大大名であった。頼純は徳川家康の10男である頼宜の二男であり、家康の孫であった。そのため、西條藩松平家は定府大名といい、参勤交代を免除された。全国300候の内、定府大名が11藩あった。江戸城内詰所は、大広間であり、薩摩島津藩77万石や仙台伊達藩62万石、広島浅野藩42万石などの外様大名の大藩と同列であった。家紋は「隅切り葵」のご紋で、ちなみに江戸の徳川本家は「丸に葵」のご紋である。



隅切り葵

頼淳は、寛保13年(1728年)に西條藩4代藩主・松平頼邑(よりむら)の養子となり、幼名春千代から名を松平頼淳(よりあつ)と改める。宝暦3年(1753年)7月、病弱な4代藩主頼邑は隠居し、弱冠26歳の頼淳(徳川宗直の二男)が5代藩主となる。これは、紀州藩6代藩主・徳川宗直(=西條藩2代藩主松平頼致(よりよし))が西條藩財政再建のため行ったものである。頼淳は、この後25年間も西條藩主であったが、安永4年(1775年)再び紀州藩へ戻り、紀州藩9代藩主・徳川治貞となった。当時の大名の中でも名君の誉れの高い熊本藩8代藩主・細川重賢(しげかた)と並び「紀州の麒麟、庇護の鳳凰」と称され、麒麟公と呼ばれた。

西條藩在任中は、紀州藩侍講折衷学派の碩学「細井平洲」を招きその政事の基本とした。彼の政治の特徴は儉約を宗利、御勝手を取り直し、数年後に数万両を作ったとある。6代頼謙(よりかた)の禎瑞新田開拓の費用の一部は、これで賄ったという。頼淳が西條藩主となった宝暦3年には、西條松平藩唯一の百姓一揆が起きている。西條藩3義人と称された「村上平兵衛」、「高橋孫兵衛」、「高橋弥市左衛門」が首謀者である。

西條藩の念義妹の税率は6公4民で、6割を藩に納め、4割は百姓が受けた。松山藩も6公4民、今治藩や小松藩は、5公5民であった。西條藩は、3万石高といっても、藩の実収は、1万8千石で、これで多くの家臣やその家族を養い、藩邸や武家屋敷の建築修理、また港や堤防・道路など公共事業を行わなければならなかった。

百姓の1万2千石も生活費だけではなく、種苗ダイヤ農機具牛、馬なども含まれ自営の本百姓はともかく、雇われの水飲み百姓は貧窮を免れなかった。頼淳が藩主となった宝暦3年は稀にみる豊作で、藩の役人たちは、この時とばかり先年の享保17年の飢饉当時以来20年間減免していた年貢米の税率をもとに戻そうとしたため、これに反対して、百姓の強訴となったのである。この騒動は、藩主頼淳や前藩主の深い理解により百姓たちの願以上の減免が実施され収束した。

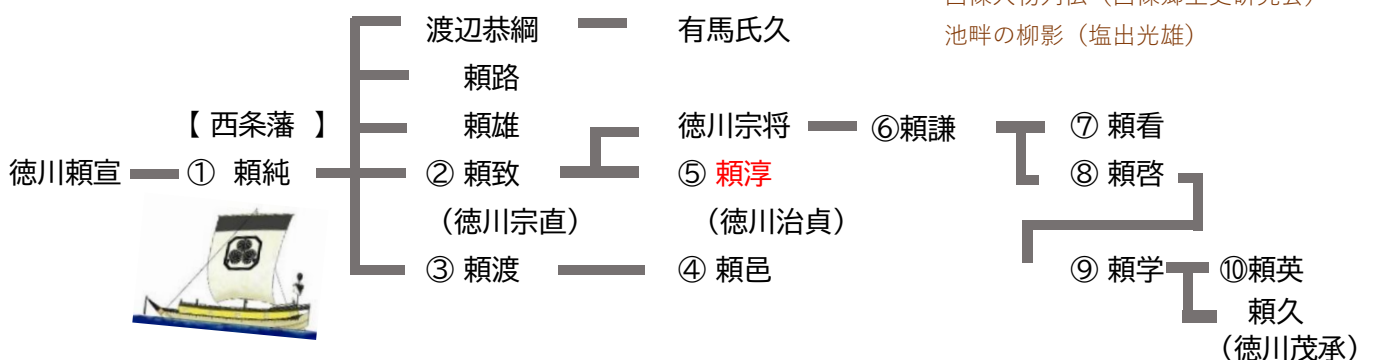
【宝暦3年の百姓一揆】

宝暦3年12月10日、新居郡東部の農民を中心に参加す。(新居郡沢津村、宇摩郡周布郡は参加せず)一説には、西條神戸宵の原が集合場所であったという。3人の首謀者は捕らえられ、獄舎(現朔日市法連寺横)につなわれ、約1年後西條榎の木(現西条文化会館)の刑場の露と消える。

寛保元年(1741年)に幕府から農民の強訴、逃散、一期行為に対する罰則強化の法が出たので藩主らもやむを得なかったであろう。3人だけでなく連座した人たちは皆処罰を受けた。なお、徳川期中期、寛延から宝暦(1748～1764年)にかけて、全国で200件に余る百姓一揆が起きている。伊予は、信州と共に、一期が多く宝暦13年の間に15件起きている。特に南予が多かった。

参考資料：

西條人物列伝(西條郷土史研究会)
池畔の柳影(塩出光雄)





西条ライオンズクラブ 会員募集中!

We Serve

◎ライオンズクラブとは

世界最大の社会奉仕団体のことです。
世界で約 200 以上の国または領域にあり
49,000 を超えるクラブが存在し、140 万人以上の会
員がいます。あなたも世界の一員になりませんか。

◎西条ライオンズクラブは

国内で 334 番目、愛媛県下では 9 番目のクラブとして
結成されました。「We Serve～我々は奉仕する～」を
合言葉におなじ志をもつ仲間同士が集まって奉仕活動
を行っています。人の為に、社会の為に、一人ではでき
ないことを、出会いを通して集まった会員が力を合わ
せて、それぞれの地域において社会奉仕に貢献してい
こうという団体です。



薬物乱用防止教育にも力を入れており、毎年講師養成講座
を受講しています。

ほのぼのシリーズ

わたしのすきなもの

No. 35 瀬川寛清

■ 好きな食べもの

お寿司(西条に来てから好きになりました)

■ 好きな場所

釣りのできる場所(しまなみ・早明浦ダム)

■ 好きな車

ボルシェ911



■ 最近、感動したこと

コロナ禍での運動会
～子供たちの一生懸命に感動 (T T)

■ 今、はまっていること

釣り(ルアーフィッシング)

「時代」
瀬川大秀門跡による講話「時代を生きる」が19日、新居浜市新田町1丁目のワクリエ新居浜であった。市民ら約150人が人の幸せを祈る言葉を耳を傾け、新型コロナウイルス下の混沌(こんとん)とした時代をどう生きるかを考えた。

瀬川さんは西条市出身で、同市飯岡の王至森寺の名誉住職。2018年には世界遺産である仁和寺の第51世門跡(住職)と御室派管長に就任した。

「紙面編集」清室泰憲

12/19 ワクリエ新居浜主催
講演会 「時代に生きる」
講師 総本山仁和寺第五十一世門跡
瀬川大秀

心の中の精神・平常心。コロナ禍での
今後の生き方を 瀬川大秀門跡(西条
LC 終身会員)が市民に語りかけまし
た。クラブメンバーの活躍に敬服します。

～愛媛新聞掲載～

編集後記



皆様、明けましておめでとうございます。

今年は壬寅(みずのえ とら)。寅は千里行って千里帰ると言いますが、壬は水のごとくと言います。

コロナウィルス・オミクロン株を水の如く流して頂ければと思います。今年は皆様にとって良い年になります様ご祈念申し上げます。

MC・地区誌編集委員 村上公明

発行者 会長 曾我部克正
幹事 植木光夫

[MC・地区誌編集委員会]

委員長/副委員長 高田潤一/二瓶大介
編集委員 越智英明・村上公明・寺川治美
盛實正人・小野雅志

例会日 毎月 第1・第3火曜日(12:30~13:30)
例会場 西条商工会館
発行 西条ライオンズクラブ事務局
印刷 プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8
西条商工会館3F
TEL(0897)56-3980
FAX(0897)56-9251
E-mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ http://saijo-lions.jp
facebook http://facebook.com/saijo.lions/